



「なぜ？」の向きを変える...

桜で始まった1学期もいよいよ7月に入り、夏休みが近づこうとしています。

新しい学年にも慣れた子どもたち、ふと気がつくときと春とは違ってぐんと成長した姿に驚かされるときもあります。

さてその成長の姿は、必ずしもいろいろなことができるようになるというものばかりではありません。強い自己主張で友だちと衝突したり、仲間はずれをつくらったり、また、無気力な姿を見せたりすることもあるでしょう。

学校は、大勢の同じ年齢の子どもたちと少しの大人しかいない特殊な社会です。そんな中で、よりよい共生関係をつくるのは、結構大変だといえます。

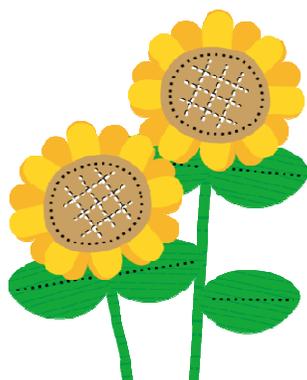
課題にきちんと対応するとともに、学校という特殊な社会で「問題が何故起こるのか」ということから「何故問題が起こらないのか」の分析に発想の転換をして、学校だからこその共生関係を作り上げる必要があるといえます。個別の課題からではなく、多くのよりよい共生事例から、その共通点を拾おうというものです。

アメリカのハーシーは「ボンド理論」として、親子関係のように「愛着」を持ち合う関係にあることや、自分に「役割」があって期待されていること、活動に積極的に参加し一定の評価を受けていること、理想や夢を持っていることが社会的な「絆」を強くしてくれるといっています。

確かに、学校では、互いにかけてあげのない存在として認め合い、一人一人に役割があり、その成果を褒められることは、よりよい学級集団作りに欠かせないことだといえます。また、そのためには、一人一人または学級が何かの共通な目標に向かって協力しながら努力していくことが必要です。

問題への対応は、目につくマイナス面を補完することができますが、さらにプラス面の増幅をおこなうことによって、一人一人が持っているいろいろな力を「協働」させることができるというわけです。

たくさんの「よいもの」にふれるとともに、自己有用感を高めるため、いろいろな世代の方々と話す機会を得ることで、いろいろな見方・考え方に触れ、他の人への思いやりが生まれると考えます。地域の皆様には、子どもたちへのお声がけを是非宜しくお願いいたします。





【夏の安全】

名草小学校区の通学路には、狭隘な場所が多々あります。ボランティアの方々が通学の様子を見ていただいています。民生委員の皆さんと保護者の方との協力です。『見守り隊』として安全確保に努めていきたいと思えます。地域の方々のお声がけもいただければ幸いです。

【ありのまま (なかよし学級から)】

4月に開級式をしてから、3か月が過ぎました。今年のなかよし学級には、1年、2年、4年、5年、6年の子どもがいます。どの子どもも、とてもかわいく、気持ちのやさしい子どもたちです。

子どもたちは交流学級となかよし学級両方で勉強しています。なかよし学級では、ひとりひとりに合わせて勉強しています。わかりやすいから、やる気がドンドン出てきます。わかりにくい時は、正直に「わからん」「難しい」って言えます。これがとても大事な事です。そして、どの子どもも、着実に学力が伸びてきています。

勉強だけでなく、ひとりひとりの良さが引き出されるのもなかよしの良い点です。また、相手の気持ちを考えて行動したり、友だちの良さを発見して、お互いを励まし合ったりできるようにもなってきます。なかよし学級はホームベースです。ありのままを出して、不安な事やいやなことがあっても、受け止めていける空間でありたいと思っています。

毎日、「いってきます」と元気よく交流学級に行き、友だちとなかよくしている姿を見ると、なんとも言えずうれしくなります。どの子どもも、安心してのびのび生活できる環境を作るのは、周りの私たちの責任です。

安全を夏休みを
交通や水に関する
老陰に加え、閑寂感に
より、思いがけない事
故や事件に遭遇する
可能性が高い時期で
す。健康や安全に注意
し、楽しい夏休みをお
過ごしください。

【家庭数配布】

| 日 | 曜 | 【 |
|-----|---|---------------|
| 7/1 | 火 | セーフティネットの日 |
| 5 | 土 | 子どもセンター(勾玉教室) |
| 7 | 月 | あいさつ運動 (5年生) |
| 14 | 月 | あいさつ運動 (4年生) |
| 17 | 木 | 桃の取組 (5年生) |
| 18 | 金 | 1学期終業式 |
| 19 | 土 | 名草まつり |
| 22 | 火 | 個人懇談 |
| 23 | 水 | 個人懇談 |
| 8/1 | 金 | 登校日 家 |
| 21 | 木 | 登校日 |